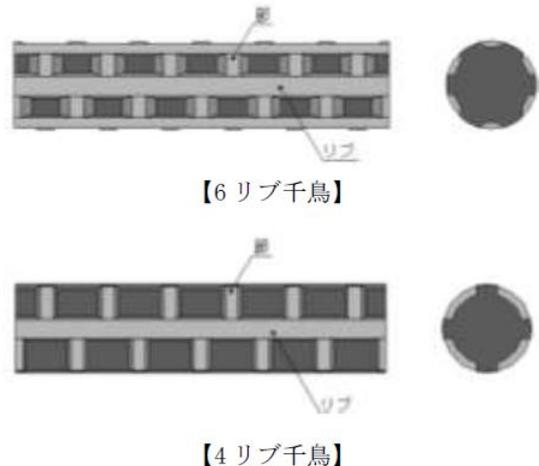


<p><b>【技術の名称】</b>                  OT685 フープ                  -OT685を用いた高強度せん断補強筋-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第12-31号                  性能証明発効日：2013年1月22日</p> <p><b>【取得者】</b>                  昭和産業グループ                  (代表会社) 昭和産業株式会社                  大谷製鉄株式会社</p>
--	--

**【技術の概要】**

OT685 フープは、昭和産業グループ 5 社が製造する 685N/mm<sup>2</sup> 級高強度せん断補強筋であり、同補強筋には、大谷製鉄株式会社が製造する国土交通大臣の認定を取得 (認定番号MSRB-0073:平成24年2月17日(6リブ千鳥)、MSRB-0075:平成24年11月16日(4リブ千鳥))した高強度せん断補強筋用異形棒鋼 OT685 が用いられる。OT685 フープは、アプセット溶接およびフラッシュ溶接による溶接閉鎖型のほかに、フック形式およびキャップタイ形式として製造される。

6リブ千鳥と4リブ千鳥 OT685 の公称直径、公称周長、公称断面積および単位質量ならびに機械的性質は、各呼び名ともにそれぞれ同じであり、節形状だけが異なる。設計では節形状の違いに係わらず、6リブ千鳥と4リブ千鳥のいずれの OT685 フープを用いても良い。



OT685 (6リブ千鳥と4リブ千鳥)の概略形状

**【技術開発の趣旨】**

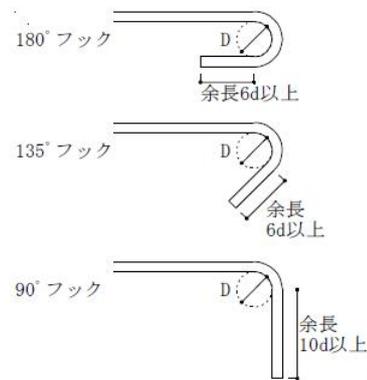
高強度せん断補強筋は、鉄筋コンクリート造柱、梁等の過密配筋防止の観点から開発され、溶接閉鎖型せん断補強筋はフック形式よりも施工性が改善され、高い横拘束効果も期待でき、使用実績が多い。本技術は、これらの背景を踏まえ、新たに開発された高強度せん断補強筋 OT685 を用いるものである。

**【性能証明の内容】**

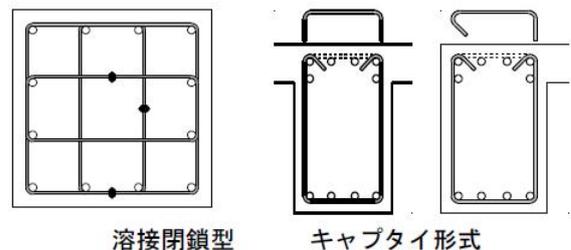
本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

1) 申込者が提案する「OT685 フープ 標準製造要領書」に従って製造された OT685 フープの溶接継手は、「2007年版建築物の構造関係技術基準解説書」の解説に示された平成12年5月31日建設省告示第1463号に基づく「溶接継手性能判定基準」による A 級継手と同等の性能を有する。

2) 申込者が提案する「OT685 フープ 設計施工指針」に従って設計・施工した OT685 フープを用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来さずひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、同指針で定める終局耐力および変形性能を有する。



OT685 フープの折曲げ後の余長



**【本技術の問合せ先】**

昭和産業(株) 品質保証課 担当者：酒寄 和泉  
 〒308-0857 茨城県筑西市小川 1910 番

E-mail : sakayori@showasangyo.co.jp  
 TEL : 0296-28-1236 FAX : 0296-28-1237